



「インフォテリア」とシンガポールのフィンテック企業

ドラゴンフライ フィンテック

「Dragonfly Fintech」が事業提携

～ 金融決済ソリューション「TEPS」と ASTERIA シリーズが連携 ～

インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下、インフォテリア）は、シンガポールに本社を置くフィンテック企業 Dragonfly Fintech Pte Ltd（読み：ドラゴンフライ フィンテック、本社：シンガポール、CEO：Lon Wong、以下、Dragonfly）と、金融サービス業における決済ソリューションを強化する事業提携に合意したことを発表します。

■ 事業提携の背景と狙い

Dragonfly は、東南アジアを中心に金融ソリューションサービス事業を行うフィンテック企業で、複数国間の決済ソリューション「Transaction Ecosystem Platform Solution」（以下、TEPS）などの金融サービスを手がけています。TEPS は、高パフォーマンスを誇るプライベート・ブロックチェーン「mijin」^{※後述}を基盤として構築されています。今回の事業提携は、この TEPS を金融機関に導入する際に、インフォテリアのデータ連携ミドルウェア ASTERIA シリーズを用いて既存のシステムとの自動連携基盤の構築を図るというパートナーシップです。

具体的には、TEPS と金融機関の基幹システムなど既存のシステムとの連携基盤の構築でデータ連携が必要な場合に ASTERIA シリーズを用いると、ノンプログラミングでの連携基盤の構築が可能となります。これにより、開発期間が短縮されるとともに、TEPS とデータ分析ツールやマネーロンダリング対策となる解析ツールなどとの自動連携基盤も容易に開発できる環境の提供を目指します。

■ 今後の展開

インフォテリアでは、2015年12月にプライベート・ブロックチェーン「mijin」を製品化しているフィンテック企業であるテックビューロ株式会社（本社：大阪府大阪市、社長：朝山貴生）と事業提携し、国内外におけるブロックチェーンの普及・啓発活動に注力しています。

フィンテックサービスの多くは、何らかの形で既存のシステムとも連携させる必要があります。連携基盤の構築において、ノンプログラミングであり開発工数の削減にも貢献できる ASTERIA シリーズは、フィンテックの導入メリットを最大化する上で不可欠なミドルウェアであると考えています。今後も、フィンテックの導入において、開発リソースの削減に貢献し、熟練した専門知識がなくても開発できるような環境を創出することで国内外の金融機関におけるフィンテックの導入促進に貢献していく方針です。

■ 「Dragonfly Fintech Pte Ltd」について（Web サイト <http://www.dfintech.com>）

シンガポールで設立されたフィンテック企業のスタートアップ。創業者 Lon Wong はシリアルテクノプレナーであるとともに、フィンテックビジネス手法の考案者でもあります。また、Wong氏は nem オープンソースプロジェクトのコアチームメンバーであり、ブロックチェーン技術の発展にも貢献しています。

■ 「Transaction Ecosystem Platform Solution (TEPS)」について

(Web サイト <http://www.dfintech.com/static/teps.pdf>)

「mijin」を使った高速トランザクションエンジンによるプライベート・ブロックチェーン技術を用いた先駆的なソリューション。金融業界に特化した仕様で、既存の銀行の基幹システムに対して大きな変更を伴うことなく導入することができ、デジタルマネーという新しい決済・清算形態を実現します。従来の複数国間での精算処理では、膨大な決済処理をまとめて行うリアルタイム・グロス決済を行います。TEPS ではグロス処理の必要性を無くし、T+0 のリアルタイム決済を実現し煩雑な財務管理の手間を自動化するなど、決済・精算手法において新しい展望を導き出す画期的なソリューションです。

■ 「mijin」について (Web サイト <https://mijin.io>)

テックビューロ株式会社によって開発された、国産初のプライベート・ブロックチェーン構築プラットフォーム。国際的オープンソースプロジェクト「nem」のコアデベロッパー3人が合流して開発を行っています。2016年4月に国内大手銀行での実証実験において、世界に先駆けて勘定システムへの適用が実証されました。

■ 「ASTERIA シリーズ」について (Web サイト <https://www.infoteria.com/jp/asteria>)

ASTERIA シリーズは、「ASTERIA WARP」を中心とするデータ連携ミドルウェア製品群で、導入社数は5,300社以上(2015年12月末現在)、企業向けデータ連携製品(EAI/ESB製品)の国内市場において9年連続市場シェア No.1※を獲得しています。主力の「ASTERIA WARP」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できる特長を持っています。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。

※テクノ・システム・リサーチ社「2015年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」

■ 「インフォテリア株式会社」について (Web サイト <https://www.infoteria.com/>)

1998年に国内初のXML 専門ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の「ASTERIA」は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に5,305社(2015年12月末現在)の企業に導入されています。また、「Handbook」は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、現在971件(2015年12月末現在)の企業や公共機関で採用されています。

<プレスリリース 掲載 URL>

https://www.infoteria.com/jp/news/press/2016/04/18_01.php

【プレスリリースに関するお問い合わせ先(報道機関窓口)】

インフォテリア株式会社 広報・IR室:長沼史宏

TEL:03-5718-1297 / FAX:03-5718-1261 / E-mail: press@infoteria.com

インフォテリア、ASTERIA、Handbook はインフォテリア株式会社の登録商標です。

Dragonfly、TEPS は Dragonfly Fintech Pte Ltd の商標です。

本文中の商品名は、各社の商標または登録商標です。